

授業概要

本講義では、①社会科の歴史と特質、様々な教育観について概観し、②実際に教材研究・授業づくりを体験することで、社会科教師としての資質を養うことを目的とする。具体的には、4つのパートから成り立っている。パート1では、「よい」社会科授業とはどのような授業であったのか、自らの被教育体験から目標・内容・方法の観点から検討する。また、事例をもとに社会科の歴史や特質について概観する。パート2では、小学校社会科カリキュラムの内容を踏まえた上で、身近なモノを教材化し、授業化・単元化していく。パート3では、身近な地域の調査を実施して、社会科の教育内容と結びつけて考察する。パート4では、教材化・授業化した単元プランの発表・議論を通して、自己の社会科授業づくりをふりかえり、新たな課題を見出していく。

授業計画

第1回	あなたにとって「よい」社会科授業とは？（ふりかえり①）
第2回	社会科の歴史と特質——川口プランと地域教材
第3回	身近な地域の調査①郷土資料館との連携 ※外部講師講義予定
第4回	身近な「地図」から教材作成——第3学年
第5回	身近な「モノ」から教材作成——第4学年
第6回	身近な「ニュース」から教材・授業作成——第5学年
第7回	身近な「問題・話題」から教材・授業作成——第6学年
第8回	身近な地域の調査②——地元の災害リスクの調査；GISの活用
第9回	身近な地域の調査③——大学周辺地域のフィールドワーク
第10回	身近な地域の調査④——博物館・美術館との連携；歴史教育・平和教育の観点から
第11回	調査内容の社会科授業化・単元化①単元・授業のストーリーと問いの構成
第12回	調査内容の社会科授業化・単元化②学習評価と指導方略
第13回	調査内容の社会科授業化・単元化③学習内容と学習活動
第14回	社会科授業・単元プランの発表と議論①ICT機器の活用と発表・議論の方法
第15回	社会科授業・単元プランの発表と議論②自己の社会科授業づくりの意義と課題（ふりかえり②）
第16回	筆記試験

到達目標

- ・社会科の歴史を踏まえて、社会科の特質について説明することができる。
- ・社会科カリキュラムの内容を踏まえて、身近なモノから教材・授業を作成し、発表・検討することができる。
- ・身近な地域の調査の体験を通じて、調査内容と社会科教材化の関係性について考察することができる。

履修上の注意

本講義は、社会科の特質を念頭に置きながら、身近にあるモノや社会現象などを教材化・授業化し、実践につなげる感覚を身につけることを目指しています。日常に潜む隠れた教材を社会科の内容に置き換えて考える習慣を形成してってください。なお、フィールドワークや学外調査があることを考慮しておいてください。

予習・復習

参考文献やその他の関連資料は、講義内容を深めるために読み進めてください。また、教材作成・地域調査の中で出てきた必要な情報を適宜収集・整理することで、より精度の高い調査・教材にしていきたいと思います。

評価方法

- ・筆記試験：40%
- ・作成した教材、授業・単元プラン、発表・議論：30%
- ・各回の活動・調査、ふりかえりシート：30%

テキスト

基本的には適宜プリントを配付する。

参考文献：文部科学省（2018）.『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編』日本文教出版。
 原田智仁（2022）.『初等社会科教育の理論と実践—学びのレリバンスを求めて—』教育情報出版。
 大澤克美（2019）.『小学校社会科教師の専門性育成（第三版）』教育出版。
 社会認識教育学会（2019）.『小学校社会科教育』学術図書出版社。